

企業ホットニュース

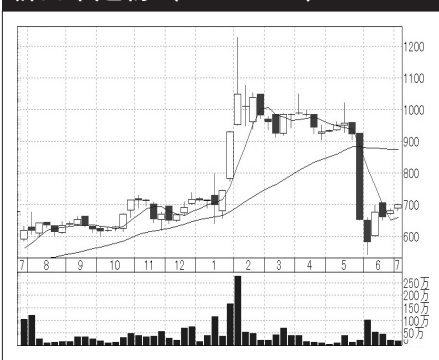
新日本建物 (8893・J)

新日本建物の業績の伸びがマンション販売事業、不動産流動化事業の好調を中心に加速してきた。一〇倍を切る超低PER水準の株価は出遅れの一語といつていいだろう。

同社は首都圏の一都三県でマンションや戸建住宅の分譲販売等から不動産流動化事業へ展開しており、二〇〇六年三ヶ月期の連結業績は売上高五三四億五〇〇万円、経常利益二三億二四〇〇万円、純利益一二億六〇〇万円と前期比一三・〇%の増収、一二・二%の経常増益、一一・六%の純益増益で三期連続増収、増益で経常利益は過去最高を更新した。売上げの六〇・二%を占める主力のマンション販売事業では「テイスタ西大島」(七三戸)など自社分譲マンションは売上高一四九億一七〇〇万円、前期比一四・三%減となったが、不

マンション・戸建販売、不動産流動化等好調で最高収益更新へ

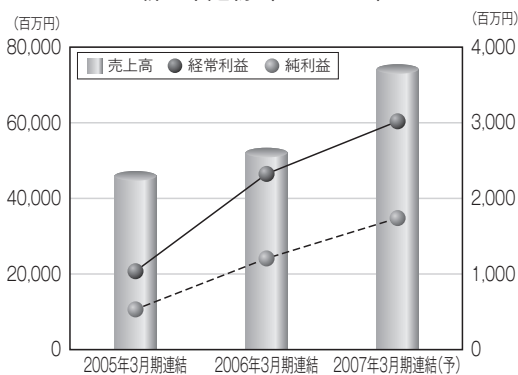
新日本建物 (8893・J)



動産流動化事業が一六九億八二〇〇万円、同四一・一%増と大幅に伸びたことから、マンション販売事業全体の売上高は三二一億三五〇〇万円、前期比七・三%増と伸びた。また、同三八・八%を占める戸建販売事業も「ルネタウンふじみ野」(全二九棟)などを販売、売上高二〇七億三四〇〇万円したことか、前期比四二・二%増と大幅増収となつて、総収益を押し上げた。

利益的にはマンションや戸建販売事業の売上原価の改善や広告宣伝費など販売費の抑制等に

新日本建物 (8893・J)



より大幅増益となつた。続く二〇〇七年三ヶ月期の連結業績も売上高七五五億円、経常利益三〇億二〇〇〇万円、純利益一七億四〇〇〇万円と前期比四一・四%の増収、二九・九%の経常増益、四四・二%の純益増益と大幅増収で過去最高収益を更新する見通しだ。

マンション販売事業が「ルネサンス宮前ハーモニープレイス」(全九九戸)など九三七戸・二九〇億円と前期比九四・四%増、流動化事業が「川崎戸手」

(四四億五二〇〇万円)など二七〇億円、同五九・〇%増とそれぞれ大幅な伸びが期待されているほか、戸建販売事業も四七五棟、一九〇億円(前期比〇・八%減)と高水準を維持して業績に寄与する見通しだ。

中期一〇〇〇億円目指す

むろん、二〇〇九年三ヶ月期連結業績で売上高一〇〇〇億円を目指すなど中期的な見通しも明るい。

不動産流動化事業は都心に重点をおき積極的に展開していくほか、戸建販売事業については効率経営のため七月一日から子会社に分離、さらに、自己資本の充実等による財務体質の確立や業務提携パートナーとのシナジー効果の創出、不動産流動化事業の強化などにより飛躍を図っていく方針だ。

なお、前期配当は普通配を二円五〇銭増配したほか、創業三〇周年記念配二円五〇銭を付けて二〇円としたが、今期は記念配を落として一七円五〇銭とする意向。

時価PERは九倍前後と割安感があり、中長期的投資に期待がもてる。